



コンファレンス コール議事録

GE-2007年度第2四半期収益コンファレンス コール

開催日時:2007年7月13日午前8時30分（東部標準時）

「本議事録の数字は予備的なもので監査を受けたものではありません」本書には「見通し情報」 - つまり、過去ではなく将来の見通しに関する情報が含まれています。その記載内容では、見通し情報は将来見込まれるビジネスや財務的業績に言及することが多く、「期待される」、「見込まれる」、「予定である」、「計画する」、「信じる」、「目指す」、「であろう」といった表現が使用されます。見通し情報では、その性格上、場合により程度は異なりますが、不確実な事項について述べられています。弊社の場合、良し悪しを問わず将来の結果に影響する可能性のある不確実性には以下のようなものがあります。金利や商品価格の変動を含む金融市場の動向、処理を含む、戦略的アクション、将来における買収事業の統合、航空・鉄道輸送、エネルギー（発生）、メディア、不動産・ヘルスケア事業を含むがこれらに限定されない取引先主要産業の将来の財務的業績、弊社保険事業における予想に反する損失発生、その他、政治・経済・ビジネス・競合・規制関連の全国、地方、および国際的な規模での要因これらの不確実性により、将来における実績はこの見通し情報で述べられているものとは実質的に異なるものとなる可能性があります。弊社では見通し情報の更新を行う責任は負いません。」

GE 出席者**ダン・ジャンキ**

GE-インベスターコミュニケーションズ - バイス・プレジデント

ジェフ・イメルト

GE-会長兼CEO

キース・シェリン

GE-シニア・バイス・プレジデント兼CFO

コンファレンス コール出席者**ジェフ・スプレグ様**

シティグループ - アナリスト

ディーン・ドレー様

ゴールドマン サックス社 - アナリスト

ロバート・マッカーシー様

バンク オブ アメリカ セキュリティ - アナリスト

ボブ・コーネル様

リーマン ブラザーズ社 - アナリスト

スコット・デーヴィス様

モーガン スタンリー社 - アナリスト

デイビッド・ブルースタイン様

UBS 社 - アナリスト

クリス・コトウィツ様

AG エドワーズ社 - アナリスト

ニコル・パレント様

クレジット スイス社 - アナリスト

プレゼンテーション**オペレーター**

(オペレーターの挨拶) 本会議の内容は録音されます。

それでは本日の会議主催者であり、インベスターコミュニケーションズ社・バイス・プレジデントのダン・ジャンキ様に進行をお願いします。では、よろしく願いいたします。

ダン・ジャンキ - GE - インベスターコミュニケーションズ、バイス・プレジデント

ありがとうございます。本日はコンファレンス・コールご参加頂きありがとうございます。ジョアンナと私は、本日ここに収益に関するコンファレンス・コールを主催させていただけることを大変光栄に思います。今朝6時30分に弊社のプレスリリースを発表しました。このプレスリリースと本日のプレゼンテーションの補足情報は、弊社の投資者向けウェブサイト www.ge.com/investor からご利用頂けます。本日のプレゼンテーションは現在の状況から判断した今後の世界および経済環境に関してお話しします。プレゼンテーションの内容は状況に応じて変更される場合もあります。本日は第2四半期の収益実績を報告し、次に第3四半期の見通し、最後に皆様からのご質問にお答えします。皆様に十分ご説明できるように本日は弊社の会長兼
CEO
のジェフ・イメルト、シニア・バイス・プレジデント兼
CFO
のキース・シェリンも出席しております。それではジェフに本コンファレンスコール開催の挨拶をお願いします。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ダン、ありがとうございます。皆さん、おはようございます。第2 四半期はGE
 の新たな強さが結果に出ています。投資家の方々にお話ししました2007年の主な事業を見てみますと、2007 年にEPS
 が低いながらも堅実に13%
 増を達成しました。将来に向けて大いに視野が開けてきたものと考えています。この四半期で事業再編によりもたらされたマイナ
 ス要因をカバーして余りあるものと考えています。会社の成長および収益構造における視界が明確になってきました。

第2 四半期の総受注額は32% 増の記録的な伸びを示し、総受注残高が増えております。国際事業の需要が非常に強く売上高は 21%
 増でした。弊社は今後も収益構造の強化に努めて参りました。現在までの今年度で見た場合 120 ベースポイントで、今四半期では
 70 ベース
 ポイントの増加になります。これは会社にとっても大きな要因で、お約束した数字でもあります。弊社は資本の配分に実績があり
 ます。Vetco Gray, Smiths
 の買収は念願していたものです。その結果は弊社の計画を上回るものでした。プラスチック事業の事業再編は順調に進んでお
 り、第3 四半期に完了する予定です。株式買い戻し計画を 140 億ドルに拡大しました。そのうちの残りの 120
 億ドルを今年度の下期に完了する見込みです。この件はキースから後ほど簡単に説明します。

ちょうど一週間前に Abbott
 の切り離しで両者合意に達したことを発表しました。この件は非常に込み入っていたため、お互い合意までには一苦労ありました
 。最終的な契約まで至ることはできませんでした。この件の経験を今後活かしたいと考えています。弊社ではこの 10
 年間にヘルスケア事業および 100 以上の取引に 200
 億ドルを投資して参りました。弊社ではこの事業の将来性を重視しており、今後も投資を続けてまいります。ヘルスケア事業は将
 来的には堅実な成長を遂げるものと考えています。

次のページのその状況を説明しています。これは5月にお話ししたものとほぼ同じ内容です。弊社が重点を置いて取り組んできました
 た大きなテーマがすべて順調に推移していることをご報告します。グローバル化と新興成長市場において、 GE
 は他社にかなり先行しておりそれが現在追い風となっています。インフラストラクチャー事業はまさに弊社の根幹であり今後も同
 様です。世界的な需要増加の追い風を受けました GE Money での努力が結果を出しています。エコ
 イマジネーション、エナジーおよび投資への再投資はすべて非常に堅調に推移しています。

なが同じかご覧頂ければ、市場の高度な流動性が挙げられます。米国の消費者は堅調です。失業率は低く、現在のところ米国の
 消費には懸念材料はありません。圧力は以前お話ししたところからあります。負債削減条項およびヘルスケア事業は第 1
 四半期に比べ第 2 四半期は少し悪くなります。サブプライム部門では、WMCQ
 から撤退を決定しましたが、現在まだ挑戦を続けています。収支的には、この環境でまだましではないかと考えています。大きな
 サプライズはありませんが、下期を考慮に入れても堅調に推移しているものと考えています。

このプレゼンテーションでこれから説明する主要な業績はすべて好調です。受注、資産、あるいは売上げのどの点においても成長
 度合いは非常に堅調です。内部成長は 8% でした。非常に堅調で、EPS は 13%
 増、これは予想通りで、この四半期の産業部門の売上増がファイナンシャル部門の売上増を上回りました。収益率は 30
 ベースポイントで、これも予想通りの結果でした。株式の買い戻しが今年度の ROTC
 の拡大に貢献するものと考えています。すでに利益およびその重要性については述べましたが、今四半期で 70 ベイシス
 ポイント、年度では 120 ベイシス
 ポイントになります。キースからその点を説明します。会社として相当の利益を生み出しており、今年度を通じて CFOA
 は堅調に推移するものと思われれます。ですから極めて堅調な実績を示しています。

長期的な戦略においては常々およそ 4
 ポイントが会社に重要であると話しています。最初は基幹事業への投資です。インフラストラクチャー部門およびファイナンス部
 門への投資は売上のおよそ 55 % が弊社の標準です。NBC ユニバーサルに付いてはキースから詳しく説明しますが、NBCU
 の今年度下期にはかなり期待しており、将来的にはかなり貢献してくれるものと考えています。計画達成とファイナンシャル部門の
 実績は、皆様が常に GE
 に期待しているものですが、部門別の収益の成長度合いは非常に堅調で、利益率および資本収益率双方で拡張を続けており、高イン
 ダストリアル CEFOA を維持しており、以前お話ししました
 2分野の課題目標に対してこれから詳細を説明しますが、サブプライム部門のヘルスケア事業であり、この下期にかけて検討して参
 ります。

株式の買い戻しに関しましては、2005 年の年初に 4 年間で 合計 250 億ドルの買い戻しを発表しましたことをご記憶かと思えます。この 1 年で基本的にそれを加速しており、今朝発表しましたようにこの 250 億ドルから 270 億ドルに拡大しました。今年度末には再度皆様にお会いして 2 008 年以降の株式の買い戻しに付いて説明したいと考えています。ですからこの件をこの会議に入れました。

会社全体が成長しています。内部成長は 8% で、サービスが 12% 増、CSA 残高が増加傾向にあり、国際事業の売上高は 21% 増、新興成長市場は 29% 増、この数年弊社が発表してきた基本的な成長戦略はすべての分野において達成しつつあります。最後に、キースから組合との合意について説明しますが、弊社は組合とは良好で堅固な関係を維持しています。それは両者にいいことで、テーブルに着くことなく潜在的なリスク回避につながっています。それではこれからキースから弊社のその他の事業について説明します。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

ジェフ、ありがとう。私は最初に最新の資本の配分から説明したいと思えます。2007 年の弊社の基本姿勢については昨年末に皆様に説明し EPG でも更新しております。左側に今日現在の手元資本 420 億ドルを報告しています。皆様はその配分についてはご存知のことと思えます。まもなく完了します。GE、日立製作所、合弁事業については今 四半期で完了しました。保険事業については第 1 四半期に完了しています。プラスチック事業については 9 月初旬に完了する予定です。純利益は 230 億ドルになります。その純利益は R&D およびプログラミングおよび資本支出への投資後の数字です。さらに昨年度の繰越金があります。ですから 420 億ドルおよび繰越金さらにその他の事業分野からの資本を積み増します。弊社の主に金融サービス部門での事業再編による日和見的な価値の創造に重点を置いて説明します。ジェフが EPG で説明したように、前進するための相違は弊社の条件によるものでそしてそれらは投資家側に立ったものです。ですから資本の流動性はかなりあります。

右側に弊社の配分の基本を示してあります。本日の新たなニュースとしては Abbott を除いて産業部門の買収速度を緩め株式の買い戻しを拡大することにしました。皆様は弊社の収益に基づいた配当成長戦略をご存知のことと思えますが、今年 120 億ドルを配当に回します。

金融サービス部門への資本投下には変更ありません。産業部門の買収では、Smiths および Vetco の買収を完了し、Abbott の買収を発表しました。今年は 140 億ドルの株式を買い戻します。それは当初の計画の 7 ~ 80 億ドルになり上期ではまだ 18 億ドルしか買い戻しをしておらず、下期に 120 億ドルを買い戻します。ですから、今年は合計で 260 億ドルを株主に還元することになります。継続事業のプラスチック事業の再編により、さらに有望な事業を加え、それにインフラストラクチャーで、内部成長率を改善し、総資本に対する総資本利益率を拡大しました。ですから、資本の配分についてこのようにお話し出来る訳です。

次のページは弊社の労務協定を更新したものです。ジェフが述べましたように、弊社では新たに 4 年契約を組合および各部門と締結しました。我々としてはそれは公平な契約だと考えています。それは 2003 年に契約した 4 年契約の内容と同様のものです。この 4 年間に相応の賃金上昇があり、退職者年金を増やしました。弊社ではヘルスケアでは一人当たりのコスト採用に同意し、将来的にはヘルスケアのコストは高くなりますが、同時にコスト共有もまた拡大しました。弊社ではまた給料ベースの新規採用向け現在の採用計画に沿った新規採用の給付金を導入しました。また米国の大規模な組合である IUE および UE と現在米国内での契約を進めましたが弊社の米国内の組合とは合意に達しましたことをここに謹んでご報告します。ですから GE の取締役会での承認および組合との最終合意がこの 7 月末に行われる予定です。GE の社員および GE の株主と素晴らしい契約を締結できることは喜びに耐えません。

次は受注状況について説明します。この今 四半期も多量のご注文を頂きました。左側の主要設備・機器の受注は 131 億ドルの 54% の増です。左側の欄はアビエーションで受注は 30 億ドル近くで 30% 増、エナジーは 40 億ドル、つまり 70% 増、オイル&ガスは 50% 増、トランスポーターションは、4 倍増の 20 億ドルになりました。ご覧のように、インフラストラクチャーの好調な受注もあり 全体としては 83% 増になりました。これらは各部門共通で、全世界的な傾向で、非常に大規模で、非常に多量の主要設備・機器のご注文を頂いております。注文残高は強含みの 440 億ドルで、前年比 50% 増です。また主要設備・機器関係全般に亘って引き合いが好調です。

そんな中で、サービスの受注は 80 億ドルの 11% 増でした。ご覧のようにアビエーション事業の補修部品の好調で堅調な注文およびオイル&ガスの堅調な受注が業績を牽引しています。ですから、ここでも二桁の注文残高増になっています。次に右側では活発な受注は 40 億ドルを少し下回り6% 増になります。照明機器事部門および産業関係で受注は非常に好調でした。家電関係は小売ベースでは受注は幾分活発ですが、流通経路で増加分は吸収されています。家電部門は全体で 1% 増でした。全体としてこの四半期は受注は極めて堅調でした。第 2 四半期の受注は 250 億ドルの 32% 増でした。前年比での注文残高は 180 億ドルの 42% 増です。ですからこれらの注文を見てもお分かりように前途は非常に明るい状況です。

次に、皆様に四半期ごとにご報告している利益および金融サービス部門の支払い延滞額について説明します。左側が利益です。以前ご説明しましたように、緑の棒は平均の資産をパーセントで表した純収入あるいは拠出価値です。次の緑の棒は、これらの純収入を損失で調整したものです。ですからそれらはリスク調整済みの拠出価値です。利益は前年比でおよそ 20 ペイシス -- 27 ペイシス

ポイント減少しており、リスク調整後の利益を緑の棒で表しています。基本的にこの傾向はこれまで年間を通じて同じです。弊社では今後も継続して利益減少をもたらす強力なマーケットの流動性を追及して参ります。ほとんどの金融サービス事業でそれらを平均化しており、それは新規の受注にはよいニュースです。弊社では現在以前の貸付残高を減少させるための比較を行っています。では次に収益の影響ですが、この利益の減少分は資産の大幅増による流動性、優れた創造性、堅調な生産性、簡素化および事業再編を通じて相殺して余りあるものがあります。この流動的な環境で収益増を継続して参ります。

次に右側の支払い帯納額では、ご覧のように支払い期限の 30 日を越えた未回収分ですが、青の棒、GE Money の棒、WMC 撤退後の GE Money 支払い帯納額は毎年減少しており、第 1 四半期ではほぼ横ばいです。次に主要設備・機器購入資金の融資残高は歴史的な低レベルにあります。ポートフォリオにおけるリスク予見での弊社の見込みでは特に問題はありませぬ。非常に強力なレベルで非常に堅実な業績管理および品質を維持します。

次は産業部門の利益です。左側は会社全体の利益を表しており、その中には 2.5 ポイント増加した法人利益率が含まれています。また右側には事業部門別の利益を示しています。ご報告済みのこの四半期の事業部門別の利益は 70 ペイシス ポイント増加し、半期で 120 ペイシス ポイント、その下部にはその詳細および利益率引役の事業部門の状況を示してあります。

このようにインフラストラクチャー部門は大変好調な四半期でした。インフラストラクチャー部門の営業利益は16.1 から 17.1 に拡大しています。完全に1

ポイント拡大しています。それがインフラストラクチャー部門の成長の証です。価格と生産性の向上によってインフレーションの吸収効果以上に成果を出しています。ここで指摘したいのは営業利益が実際は 2 ポイント拡大していることです。ご覧のように主要設備・機器部門の収益がサービス部門の 2 倍以上あるにも拘わらず営業利益が完全に 1 ポイント拡大していることです。それらの事業部門の利益を合計した場合、2 事業部門合計の利益はおよそ 60 ペイシス ポイントになります。さらに、既に皆様ご存知のようにこの四半期に Vetco および Smith の買収を完了しましたが、この 2 社の買収がさらに約 50 ポイント利益に貢献しています。この 2 社の買収による利益の 110 ペイシス ポイントおよび主要設備・機器関連の大幅な販売増の 110 ペイシス ポイントにも拘わらず 100 ペイシスポイントの増加を達成している訳ですから、それは将来に向けて極めて大きなニュースです。

他の事業部門では、産業部門および NBC ユニバーサルが利益が拡大しており、ヘルスケア事業部のマイナス要因の相殺以上の効果をもたらしています。ご存知のようにそこに問題があります。その件に関しましてはヘルスケア事業部のページで説明します。第 3 四半期に向けた利益拡大要素を説明します。弊社では現在通期の 100 ペイシス ポイント拡大に向けた状況を確認中ですが現在社内ですべての計画に満足しています。

次に WMC からの撤退について説明します。これは米国のサブプライム モーゲージ プラットフォームです。右側に皆様にお約束しました第 1 四半期の売上を示していますが、実績はご覧のようになりました。ジェフと私で現在隔週に各事業部門と営業会議を始めました。我々は確認のために会議をし、各事業部門は我々の提案に最大限の努力を惜みず、リスク分析を行い、我々の将来の市場予測に対して採った対策が間違っていないことを確認する作業を行っています。

環境の変化を見極めた上で我々はこの事業からの撤退を決意しました。我々は事業部とともに計画を練り 37 億ドルの住宅ローン資産を売却しましたが、それは当時の事業部の 75% を占めるものでした。下期に発生したサブプライムの新たな混乱に遭遇する前に撤退することができましたので、その売却は時宜を得たものだったと考えています。WMC では合計で 1.82 億ドルの損失を出しましたが、それは GE Money の実績 8%

増に含まれています。全体としてそのマイナス面をカバーしています。弊社では事業再編に取り組んで参りましたが、この撤退に備えて社員数を約 70% 削減しました。事業の撤退を現在進めており、その撤退に向けてリストラを実施しました。逆風を取り除き将来のリスクを低減させる意味においてもその決断は賢明であったと考えています。ですから現在の WMC の状況には非常に満足しています。

次に事業再編およびその他の財務費用について説明します。弊社が第 1 四半期から始めた件からご報告します。第 2 四半期でジェフが述べたように GE は 日立製作所に原子力事業の 40% を売却し合弁事業の契約を完了しました。これにより税引き利益が 5.27 億ドル追加されています。その収入は GE 本体の損益計算書のその他の収益に含まれています。

それは左側の営業収支の事業再編およびその他の財務費用でご覧いただけます。営業収支のその 4.22 億ドルはすべて GE 本体としての収入です。それではこれからセグメント別について説明します。下段の GE Money のその他の費用で 37 億ドルを前のページで説明した資産の部の売却益として計上しています。

GE 本体の事業再編およびその他の財務費およびセグメントの金額、GE Money セグメントの WMC 撤退費を合算すると、税引き後利益の 5.73 億ドルになり日立製作所への売却益の相殺分より多くなります。再度右側に移りますが、カテゴリ別の金額を載せていますが事業再編によるいくつかの削減に関するもので、いくつかのサービス部門と倉庫を検討しています。それは約 1,200 万ドルで数百人の社員を少し下回ります。組織の再編成は、弊社としてはそのコストを NBC から支出し、この四半期で約 3,000 万ドル計上しています。それはその会社を離職された社員にいくらか回されています。

コスト構造における改善点としては、現在苦戦している DI 事業の再編成を行っておりそれはおよそ 4,600 万ドルで、数百人に相当します。では再度事業の撤退ですが最も大規模なものとしては ModSpace Europe 8,000 万ドルで、百人以上が対象になりました。ですから合計では、この半期で税引き後のリストラ費用として約 8 億ドルを計上しました。およそ 6,300 人の社員が影響を受けペイバックは平均でおよそ 3 年です。さらに事業の再編成があった場合には四半期ごとにその結果を報告して参ります。

次に、第 2 四半期の連結結果について説明します。左側に継続事業の概要をまとめてあります。総収入 423 億ドルで 12% 増、これは主に産業部門の好調な販売および金融サービス部門の収益によります。純利益は 54 億ドルの 12% 増で、EPS は \$0.52 で 13% 拡大しました。ここに EPS の純利益も掲げています。それには清算した事業の影響が含まれています。この四半期でプラスチックおよびアドバンスト マテリアルを清算事業に組み入れ、プラスチック売却の一部として計上しています。ここで申し上げたいのは、ウェブに掲載した追加情報をここにも含めておりますのでそれによって皆様に会社全体の清算事業による影響を 2006 年度と比較できるようにしています。第 3 四半期でさらに詳しい状況をご連絡します。しかし皆様のモデルの更新には十分な資料を提供します。

手持ち現金は 116 億ドルで現在までで 16% 減少しています。前年度で実施し今年度全体に反映されていない保険収入の処分による影響を説明します。次に税金ですが、連結ベースの比率では弊社のガイダンス通りの 17% でした。これは四半期で 17% ですが、通年でも 17% です。

さて、右側に事業の業績を載せていますが、それらに数分間で少し説明します。インフラストラクチャーおよびコマース・ファイナンス。これらの 2 部門でセグメントの利益の 55% 以上を占めます。それらは素晴らしい結果で、弊社のガイダンスよりもよい結果でした。GE Money、NBC ユニバーサルおよびインダストリアルの実績はすべてガイドラインに沿ったものでした。次に今四半期のセグメントの利益のおよそ 11% を占めるヘルスケアですが、予想以上に厳しいものでした。全体としては好結果でした。数ページで皆様に各部門について説明します。

次は現金です。第 2 四半期の現金は、今日現在までは引き続き弊社の予測に沿ったものとなっています。左側に CFOA の 116 億ドルがあります。それは我々が昨年作成したものを下回りました。下の左側に 2006 年度の上期の詳細を載せていると思いますが、保険の売上から特別配当として今年度に受け取ったものより 30 億ドル多くなりました。それは Genworth の最終および GE 保険ソリューションの最初の撤退によるものです。今年実施したものではありません。最後の GE 保険ソリューションの最終的な撤退で、売却したものを再び株を購入したものです。インダストリアルの CFOA は 69 億ドルで、半期で 11% 増でこれは売上に沿ったものです。弊社のインダストリアルの CFOA は通期で 二桁増を期待しています。

右側に弊社の収支の動き、期首の現金、期首残高にキャッシュ
 フローを加え、それから支払い済み配当を引いて、ご説明しましたように半期で 18
 億ドルの株式を再度購入しました。工場施設および設備機器に投資しました。Smiths およびand
 Vetcoの買収を完了し部分的に原子力合弁事業の現金で相殺して、よって負債およびその他が多少変動し、最終的にこの四半期に
 2.1 の現金を計上しました。現金収支については、極めて満足な数字です。予測通りに、通期では 240 億ドルの CFOA
 を達成できるものと思います。

次にセグメント別の説明に入る前に、第 3
 四半期の展望について少し説明したいと思います。セグメント別の展望を左側に示していますが、相変わらず好調を維持し、イン
 フラストラクチャー、コマーシャル・ファイナンスは堅調でNBC インダストリアルはGE Money も堅調です。第 3
 四半期のヘルスケアは現在の見込みでは横ばいです。右側に会社全体の収入 420 億ドル、約 10% 増を計上しています。利益は 55
 億から 57 億ドルになります。EPS は 1 株 \$0.54 から \$0.56 を維持する予定です。ですから堅調な二桁増を利益および 1
 株当たりの利益を見込んでいます。

次に右側の下段ですが、プラスチックスの現在弊社が予測している税引き利益は15
 億ドルでこれには清算事業が含まれることを付け加えておきます。これから数週間で事業の再編成を評価し、事業の清算計画が妥
 当なものかどうかを検討します。この件の結論については 9
 月のインフラストラクチャーの会議で説明します。もうひとつ付け加えておけば上記のガイダンスではプラスチックの利益あ
 るいは事業再編によるコストを計上していないということです。ガイダンスには通期でこの件は計上しないで事業再編の相殺勘定
 として計上します。ですからご覧のように第 3 四半期の展望は非常に堅調です。EPS は \$0.54 から \$0.56 で、15 から 19%
 増を見込んでいます。

では次にセグメントを見てみます。インフラストラクチャーから説明します。ジョン・ライスとその事業部にはまさに絶好調の四
 半期で、収入が 139 億ドルの 23% 増で、セグメントとしての利益は26 億ドルの 23%
 増です。ご覧のように営業レバレッジは素晴らしいものがあります。

左下の欄をご覧頂くと、インフラストラクチャーの売上、上から下に、それらは産業部門の事業です。収入は 23%
 増でセグメントとしての利益は 31%
 増です。まさに最高の四半期です。事業の原動力は右側に示しています。インフラストラクチャーのセグメントのアビエーション
 およびエナジーについてももう少し詳しく説明します。

アビエーションをご覧ください。収入 25% 増でセグメントの利益は 17% 増です。受注は非常に堅調の48 億ドルで27%
 増、コマーシャル エンジン の 18 億ドルは 3% 減ですが、それでも 7 億ドルの受注残があります。サービスの受注は 21 億ドルで
 24% 増でした。主要設備・機器関係の受注残高の 168 億ドルは 70% 増です。収入は 41 億ドルで 25% 増でした。

コマーシャル・エンジンの収入は 19% 増で、今年はコマーシャル・エンジンを既に昨年より 80
 機多く出荷しました。コマーシャル・サービスは 13% 増で、軍用が 5% 増でした。Smith が3.85 億ドル収入を加え 12
 ポイントの増加でした。ですから買収の実にいいスタートが切れました。営業利益は 17%
 増で、それはまさに私が話した内容が貢献しており、さらに生産性の向上がありますがこれは部分的に材料の高騰により一部相殺
 されています。全体的にはアビエーションは非常に好調な四半期でした。

エナジーもまた素晴らしい四半期でした。収入が 16% 増加し、セグメントの利益は30%
 増で、大量の受注がありました。世界的に、注文が 66 億ドルでこの四半期では 36% 増でした。発電事業の受注は23 億ドルで
 300% 増でした。ガスタービンは昨年 47 基の受注に対して今年は 64 基受注しました。エアーの受注は 4 億ドルで 250%
 増、昨年の 7 に対して今年は 19 ユニットです。原子力の受注は 100% 増加しました。その受注には
 新しいプラント用のいくつかの長期的なアイテムに対するDominion からの 1
 億ドルの受注が含まれています。よいニュースとしては、風力発電設備の受注が 9 億ドルで 22%
 減少しましたが、継続的に受注し売売されます。風力発電の受注残は 48 億ドルで、前年比 30%
 増です。全体としては、これらのすべての受注が、発電関係の受注で物価指数が現在までおよそ 6% 上昇しています。収入は 51
 億ドルで16% 増でした。

ガスタービンには好調な四半期で、昨年は 26 基でしたがこの四半期に 41 基出荷しました。風力発電は昨年の 427
 ユニットに対し540 ユニット出荷し、サービスは 7% 増でした。営業利益はエナジー全体で 30%
 増でした。そしてそれはまさに発電事業およびエナジーのサービスが牽引した結果です。第 3

四半期の好業績が予想され、これらの事業が広範囲に亘って堅調に推移しているため、継続的な営業レバレッジの推進によりインフラストラクチャー部門の第3四半期のセグメントの利益は20%増を見込んでいます。

次は GE Money ですが、デーブとそのチームは第2 四半期に 8% の売上増を達成し、収入は 17% 増で資産に沿ったものでした。資産の部の増加も堅調で 17% 拡大し、その核となったのが非常に好調なヨーロッパで、アジアは 20 億ドル増でした。広範囲に亘る純利益の拡大したことにより、WMC および日本でのマイナスを相殺できました。ヨーロッパのコア事業は 26% 増で、米国のカードおよびセールス・ファイナンスは 29% 増でした。アジアのコア ex Japan は40% 増でした。これらの成長は将来大いに貢献することになるでしょう。

以前述べましたようにポートフォリオの品質は安定しています。GE Money の第 3 四半期も第 2 四半期と同様の勢いを継続しセグメントの利益としては5から10%増を見込んでいます。

右側にインダストリアルがあります。今回がプラスチェックを含まない最初の四半期の決算報告です。全体的にロイド・トロットターとそのチームがこの四半期はよく頑張りました。このセグメントは GE サプライなどの再編により影響を受けたことを最初にお伝えしておきます。その影響はここにご報告してあります。収入の 62 億ドルは 4% 減ですが、それらの再編事業が 5% 増でセグメントの利益も同様の 1% 増でしたがその再編後は 10% でした。事業としての基盤は堅調です。

全体的に受注は堅調でセグメントで は10% 増、C&I は 8% 増、以前申し上げましたようにこれらは照明およびインダストリアルが牽引しました。セグメント別では収入は5%増、C&Iは8%増、照明およびインダストリアルが同様に牽引しました。インダストリアルは世界的に増加しています。収入の部ではヨーロッパが 20% 増、アジアが 15% 増、U.S. は二桁増です。インダストリアルにとってはまさに拡大につぐ拡大の四半期でした。セグメントとしての利益は C&I が牽引しました。インフレーションに負けない価格体系を維持します。改めて申すまでも無く受注は堅調でした。主要設備・機器関係にとってもこの四半期は堅調でしたが、再編による影響はありました。セグメントとしての利益は 15% 増でした。

インダストリアルの第 3 四半期の展望として、セグメントの利益は 10 から 15% 増を見込んでいます。前年比では昨年の GE サプライの四半期の決算は四半期の半分しか計上されていませんでしたのでこの第 3 四半期はその分よくなります。前年比は多少よくなりますが、営業実績はあまり変わらないものと思います。

次は NBC ユニバーサルですが、ジェフ・ザッカーとそのチームは低いながらも見込みのある収益増を計画しています。収入は 36 億ドルで 6% 減です。収入は昨年のステーション販売の影響を考えると横ばいです。この事業ではこの見込みが妥当だと思われます。

セグメントの利益は 9.04 億ドルの 2% 増を見込んでいます。実際に営業面における広範な改善が見られます。ベースとなる事業地盤をご覧頂ければ、この第 2 四半期にステーション販売が今回無かったにも拘わらずその影響を相殺して余りあるものがあります。プライム、ステーションおよび TVPD は 43% 増で、エンターティメント・ケーブルは 20% 増、映画は 100% 増、TV番組28% 増でした。ブロードベースの成長は堅調です。これまで述べてきました 4 点の要素を考慮に入れてNBC の今後を見た場合、すべて見込みがあります。

ネットワークではその先行投資の結果に大いに満足しています。期待以上の結果の 40 億ドルで、チームは事業としての可能性を NBC にもたらし、それをCPM で販売してネットワークは5% 増で、ケーブル事業の CPM の結果は一桁の高い数字まで伸びました。ヒットショーが出るよう継続していきます。FOX ではあるが House はかなりうまくいっていま。それをアフターマーケット販売する予定です。Office はネットワークおよびアフターマーケットの両方でうまくいっており Heroe も同様です。まだ現在まだ持ち出しです。エンターティメント広告収入、ケーブルは説明しましたように 20% 増です。USA は一番です。二番目には大きく水をかけています。Bravo はいい位置につけました。Sci-Fi はいい位置でした。NBC, MSNBC 等はすべて非常にいい位置付けです。ですからケーブル関連ではいい結果が出ました。

この四半期に公開した映画および Parks は前年比で大幅によくなっています。Knocked Up だけが、Evan Almighty の予想外の低調を相殺して余りある結果を出しました。この四半期はDVD 部門でもよい結果が出ています。この四半期に DVD を前年比でおよそ5百万枚多く販売しました。Parksは現在そのライセンスおよび世界展開で奮闘しています。これはいい話です。

デジタルは成長を続けています。新しいサイトのリーダーシップを得ました。NewsCorp とのパートナーシップが整いました。第 3 四半期の立ち上げを見込んでいます。6 社の素晴らしいコンテンツの パートナーを得ました。NBC.com では好調を維持します。これは昨年に立ち上げたものですが、その立ち上げ以来 300 億のビデオ・ストリームを販売しその販売により 2,000 万ドルこの四半期に売り上げました。素晴らしい結果でした。第 3 四半期の展望としては、収入はステーションの販売なしで第 2 四半期と同様の結果になる見込みです。ネットワークおよびケーブルが低調なためセグメントの利益としては少し厳しい環境です。映画を 7 本公開するためその広告宣伝および販促費用が増えます。セグメントの利益を5 から 10% 増で見込んでおり結果が出ることを期待しています。進捗状況には満足しています。

次はヘルスケアです。ジョー・ホーガンとそのチームの結果は収入で 1% 減、セグメントの利益は 8% 減、受注は横ばいです。厳しい市場です。市場については既に説明しましたが、ここではその市場力学について説明します。サービスは 3% 増でしたが機器の販売減で一部相殺され 2% 増でした。DRA (負債削減条項) および弊社の OEC の影響で製品を出荷できなかったため受注ベースで約 5 ポイントの影響ができました。収入では中には非常に堅調なものもあります。この事業は世界的にも今後期待できる事業で、インターナショナル DI は18% の収入増でした。ライフサイエンスは蛋白質分離事業で非常に好調で、プライマリ17% 増、臨床は 6% 増、DRA および OEC の両方の低調を相殺しています。機器関連の全般的な収入は 4% 減でした。これは以前説明したように成長分野の増収分を DIN 医療器具を 相殺したものです。

セグメントの利益は DRA および OEC の相殺後の数字で8% 減、四半期としては 19 ポイントになります。ですから第 2 四半期の結果は第 1 四半期のガイダンスを明らかに下回っています。DRA の影響は病院のセグメントでは非病院セグメントでの予測と大きくことなり予想以上に大きなものでした。ですから病院にも流れ込みました。他の製品およびサービスへの後遺症が予想以上に大きいものでした。ですからその力学を右側に配置し皆様をご覧のように将来的な第2 四半期のためにこの事業をこのように考えています。

少しお時間を頂いて右側のチャートを説明したいと思います。第 1 四半期の営業利益は 3% 減でした。それは最低の線です。セグメントの利益頭が低下しており、OEC が 7% 減、U.S. 診断画像が 11 ポイント減でしたので、インターナショナル、超音波、ヘルスケア IT、ライフサイエンスを含む事業の平均は 15% 増でした。これらの 3 シグメントの利益頭の合計は 7% 減、11 ポイント減、そして 15% 増ですからご覧のように、営業利益としては最高で3% 増ということになります。

第 3 四半期は、営業利益をほぼ横ばいと見込んでいます。OEC の第 3 四半期は昨年のシャットダウンの影響によって少し減になります。ですから少しは改善するものと思います。U.S. 画像診断は DRA およびその影響でこの状態が続くものと思われる。その他の事業では広範にその堅調が維持されるものと思われる。

第 4 四半期は少し改善するものと思われる。一番は、この 第 4 四半期から OEC の出荷を開始できるものと考えています。それはいいニュースです。第 4 四半期に OEC が上向きように書いてあることがお分かりだと思います。弊社は米国の画像診断市場はでは価格優位性があります。それが多少マイナス要因ですがその他は上昇基調にあります。ですから前向きな 5 を上げており年間では 0 から 5 になるものと思われる。それは我々の期待を下回りますが現在の我々の展望です。多分さらに重要だと思われることは、ヘルスケアの将来を考えることです。

2008 年度はその右側に示しています。DRA の影響により画像診断の見込みを横ばいにしてはいますが、OEC との比較からするとそれでも有望で、事業の均衡の点で見た場合堅調に伸びるものと期待しています。期待通りであればその数字は最低の数字で、2008 年には営業利益として堅調な二桁の伸びを期待できるものと考えています。

ご覧のように、現在 DRA の圧力に対処しています。何かよい策が見つかり価格対応するところで下期にはこれまでのマイナスを相殺できるものと考えています。第 4 四半期に出荷できるのではと考えております。現在それで交渉中でこの事業を伸びるものと期待しております。それが現在の財務的なプロファイルです。

次はマイク・リールとそのコマーシャル・ファイナンス チームです。彼らには素晴らしい四半期でした。収入は 64 億ドルの 15% 増、シグメントの利益は 18% 増で大変大きな資産の拡大です。この部門の事業環境は好調を維持するものと考えています。過去 12 ヶ月間で資産が 530 億ドル増えました。法人金融サービス、ヘルスケア金融サービス、キャピタル・ソリューション、および不動産事業の堅調な事業

構造をご覧頂けることと思います。先行きは明るい状態です。堅調な資産増に牽引され収入は 15% 増でした。セグメントの利益は 18% 増で、不動産事業は堅調な二桁増です。不動産事業はこの四半期は素晴らしいものでした。非常によく健闘しています。

純利益は 4.76 億ドルで 42% 増です。41% 増と堅調な資産増により、好調な販売実績です。この四半期で 128 のプロパティを販売しましたが、それはおよそ 30 億ドルの資産で 57 億ドルの資産を追加しました。ですから純投資は 2.7 に増えました。売り買えを繰り返しています。できるだけスマートであるよう心がけています。ポートフォリオの品質は素晴らしいものがあります。利益を伴わない資産は 0.1% です。不動産事業には最高の四半期でした。

キャピタル・ソリューションの収益は 5% 増の 454 でした。これは実際は比較の問題で、前年の四半期は 33% でした。この半期で 8% 増で、通年では二桁増になる見込みです。コマーシャル・ファイナンスは全体的な環境からするとこの好調が続くものと思われま す。第 3 四半期のセグメントの利益はおよそ 15% 増を見込んでいます。今四半期および事業環境をざっと見てきましたがここからはジェフに戻します。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

キース、ありがとう。今年度のこれまでの説明に基づいてここで再度まとめをしたいと思います。最初に堅調な低リスク 2007 について説明します。現在の状況に極めて満足しています。インフラストラクチャーおよびまさに全開のNBC ユニバーサルには本来の非常に堅調な結果を出しており金融サービスは好調を維持するものと思われま す。キースが申し上げましたように約 20 億ドルの利益が出る模様でこれにより会社にとって長期的な利益増をもたらすための効果的な再編が可能になります。

第二部では営業面の特徴について説明します。まさに会社は今、100 ベース ポイントの利益拡大策と共に GDP の 2 倍から 3 倍の勢いで成長しています。それは非常に強力なワン ツー パンチです。多くの点で利益の拡大は弊社がインフラストラクチャーでサービス収入に移行した非常に強力な主要設備・機器関係があるからこそもたらされるものだと考えています。

そして資本の配分では、これまでポートフォリオをまさに劇的に改善できたものと考えています。我々は現在の会社の状況に満足しており、これまでの会社の実績により我々が投資家の皆さんにお約束してきたことを果たすことが出来ているのではないかと考えます。これによりこの非常に流動的な時代において最大の柔軟性が得られ非常に弾力性のある思考のもと投資家の皆さんに優しい経営ができるものと考えています。キースが申し上げましたように、第 3 四半期に再編を検討しますがそれは将来に向けて非常に大きな布石だと考えています。今年度の最終的な会社の目標は2.18 ドルから2.23 ドルを達成することです。それは 15 から 17% の上昇になります。この第 2 四半期は会社にとって非常に堅調な期であったといえます。ダン、それでは質疑に関しましてまたダンにお願いします。

ダン・ジャンキ - GE - インバスターコミュニケーションズ、バイス・プレジデント

ありがとう、ジェフ。それでは今から始めます。ビル、ご質問に回答をお願いします。

質疑応答

オペレーター

(オペレーターに指示) 最初のご質問はシティグループのジェフ・スプレーグ様からありました。

ジェフ・スプレーグ様 - シティグループ - アナリスト

ありがとうございます。皆さん、おはようございます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ジェフ、ありがとう。

ジェフ・スプレーグ様 - シティグループ - アナリスト

ジェフさん、キースさん、ポートフォリオの現在の状況と今後の再編に関してもう少し詳しくご説明お願ひしたいのですが。特に部門は問いません。でもそのプロセスに関しもう少し色をつけて頂きたいのですが。何をどうしようとしているのか、何を基準にそれらの決断をくだすのかです。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ジェフ、4 点のプロッカーのEPG で私が紹介したチャートに戻ります。GE の本当の強さの根幹である、最上段の右側から始めてはどうでしょう。弊社では常に成長が早く高収益が得られる事業に投資しています。また将来を見据えて常にアンテナを張り巡らしています。

ここで言えるのは、ジェフ、そのような場合弊社それほど焦っていないということです。言い換えるなら、弊社が参入している事業でいい案件がある場合、弊社としては投資家に優しいのものでそこで弊社が何が出来るかを考えます。次に下の右側、それは有望で、業界としては素晴らしいが弊社として業績が伸びていない分野について説明します。日立 GE 合併の原子力事業です。現在多くの案件を進めていますが、将来的には有望であると考えています。左側のプラスチックの場合は投資家のご期待にお応えできる事業ではないと考えています。そして、そこにはさまざまな要因が絡んでいると思います。それを実行するには相当の時間がかかると思います。

最も興味ある選択肢は左上段の欄にあり、投資家のご期待に沿って急激に売上が増大している事業で投資家のご待通りの収益を上げている事業だと思います。しかし、それらの事業でも理由の如何を問わず弊社としては戦略的に見直しをする必要があると考えています。第 3 四半期ではいくつかの再編を検討しておりそれは多分金融サービス部門になると思います。資産だけを考えた場合別の場所を考えたほうがよいのではないかと考えています。しかし、ジェフさん、それはある意味では EPS の流れで検討しているもので、皆さんが来年に期待できるもの、皆さんが弊社に期待する投資回収ができるものだと言えます。ご存知のように、弊社は現在成長戦略を検討しており、これは常に会社にとって戦略的な見直しをする時期であり、さらに現在様々な戦略的オプションを持っていると考えています。

ジェフ・スプレーグ様 - シティグループ - アナリスト

では次に前の質問に続くものですが、では財政的な利益とはどんなものか説明していただけますか？つまり私がお聞きしたいのは、WMC の損失が営業利益よりも大きいということでこの四半期に懸念を抱いており、その線で考えるなら撤退するのになぜ SES が営業利益として計上されているかお答え頂きたいと思います。金融サービスで何らかを取り込み何かを出すとしたら、それをどのように解釈するのですか？それを現在の事業の再編成の中でどのように解釈すればいいのでしょうか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ジェフさん、事業の再構成を利益で相殺する基本的な原則は会社として考えた場合正当であると思うのですが。弊社は常に会社のコストを変更する絶好の機会をこれまでで得ることができ将来の利益構造を改善するそれが最優先の課題であると思います。さらに、弊社が現在ある姿の基本的な会社に戻った場合、あなたは弊社の投資家への一桁の高い位置での収入、二桁の収益および20%の ROTC、これを変更できないと思っています。当然ながら将来への高度な透明性をもって。あえて言うなら、弊社が何かしらすとすればそれはあくまでも投資家に優しいということになるのではないのでしょうか。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

反論するつもりはありませんが、ジェフさん私はその回答は差し控えたいと思います。WMC の場合、弊社はそれらの資産を売却し会社のリスクを減らすために撤退に関わる相殺を決断しました。そしてそれはコンセンサスをえたものではありませんでした。中にはこれらの住宅ローン資産を保持し続けることでもっと儲かったのではないかと言う人も

います。私はそういうのも含めてそれが事業の再構成だと考えています。私はそれが会社のリスクを低減するものと認識しています。それは反対を押し切って決断しなければならない選択でした。そして私はその決断が時期的にもまた投資家の皆さんのためにも賢明な決断だったと考えています。我々はその決断は事業再編あるいは会社をよくするための先を見越した決断だったと考えています。

ジェフ・スプレグ様 - シティグループ - アナリスト

わかりました。ありがとうございます。

オペレーター

次はゴールドマン・サックス社のディーン・ドレー様からのご質問です。では、よろしくお願いたします。

ディーン・ドレー様 - ゴールドマン・サックス社 - アナリスト

ありがとうございます。おはようございます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ディーンさん、おはようございます。

ディーン・ドレー様 - ゴールドマン・サックス社 - アナリスト

ジェフさん、最初の質問は第 3
四半期のところで金融サービスで何か再編があるといわれましたが、その点明確にして頂けませんでしょうか。これは WMC
の売却とは別ですね？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

はい。

ディーン・ドレー様 - ゴールドマン・サックス社 - アナリスト

わかりました。では、それ以外に事業の再編を考えているということですか。それは不動産部門の縮小あるいは別部門ですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ディーンさん、その件は現段階ではそのままにしておきたいのですが、再度申し上げますが、現在弊社は資産の見直しのいい時期だということです。現在戦略的に見直しを行っており最終的に結論を出した段階で皆様にご報告します。

ディーン・ドレー様 - ゴールドマン・サックス社 - アナリスト

わかりました。次に注文増によって貴社が抱える問題について質問します。受注が 32% 増で主要設備・機器関係の受注残が 54% 増になりますが、生産能力の限界および納期または部材の不足などの問題はいかがでしょうか。現在の状況と今後数四半期での対策について説明をお願いします。大きな注残の問題の根源は何だと思いですか？それは資材の仕入れの問題ですか？それとこのような大きな注文に対する今後の対策についてご説明願います。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ディーンさん、90 年代の電力バブルをご存知ですか。現在弊社のその状態にあります。GE が業界で他社よりも優れているのは弊社ではサプライ・チェーンで部材を管理しているということです。この管理を会社のコア・コンピタンスだと考えています。ですからそれがガスタービンあるいはジェットエンジンまたは風力の場合でも、それらを活用して安全な部材の仕入れを行っています。ですから、単に注文を頂くだけでなくご注文増に対応した納入をすることでそれが利益の最大化に貢献するものと考えています。私はこの需要に対応する弊社のこの機能に満足しています。

ディーン・ドレー様 - ゴールドマン・サックス社 - アナリスト

注文増に対しては生産設備を拡張するのですか、それともアウトソースで対応するのですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

どちらかといえばアウトソースです。現在なにができるのか、例えばグリーンビル場合、グリーンビルは現在多目的生産体制を組んでいます。そこではガスタービン、風力のギアボックス、航空機のエンジンのフォイルなどを生産しています。そのように出来ることは素晴らしいことです。弊社ではまた中国でのギアの生産に資本投入しました。これが GE が単にサプライ・チェーンを支援するだけではなく、その流れの中でさらに利益を生み出す機会を作ります。それらは様々な状況のなかで弊社が特に優れている点です。

ディーン・ドレー様 - ゴールドマン・サックス社 - アナリスト

わかりました。ありがとうございます。

オペレーター

大変ありがとうございます。皆さん、それでは次はバンク オブ アメリカ セキュリティーズのロバート・マッカーシー様からの質問です。お願いします。

ロバート・マッカーシー - バンク オブ アメリカ セキュリティーズ社 - アナリスト

皆さん、おはようございます。回答できる範囲でAbbott Labs について説明していただけませんか。どのようにして投資家に影響を及ぼす懸念を察知しあるいはそのような取引を見分けるか説明して頂けますか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ロブさん、そのようなものはありません。言い換えるなら、これは弊社が清算を発表した段階での買収でした。それをこれまで実行できませんでした。現在の状況および資本の増加を考慮し我々は経営幹部のチームとして弊社の基準に合わせて理に適った買収を社内で詰めます。よい買収案件が無い場合は投資家に還元します。弊社は資本を投資家に還元しています。戦略的な買収は積極的に行っています。それが弊社が決断を下す際の流れです。

ロバート・マッカーシー - バンク オブ アメリカ セキュリティーズ社 - アナリスト

分析結果をご覧いただければ、Ventana および Roche では明らかに様々なことが起こっていると思いますが。それでもなお、買収による成長を見る限り、そこには非常に高い株価収益率があると言われました。そこでの成長あるいは拡大を支えるのでしょうか？合弁を考えているのでしょうか？その業界での拡大策の他の新しい方法は考えられないのでしょうか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ボブさん、通常ではヘルスケア事業は二桁に近い収入と二桁の中間の営業利益を生み出します。何もしなければ、そのまま成長できるかも知れません。弊社では時間をかけて戦略的に、プラットフォームを成長させる方法を検討しています。その点に関しては私は我慢強いといえるかも知れません。弊社はこの業界に 80 年おります。この業界で生きていきます。将来に事業に対する賢明な選択ができる機会が訪れたということです。

ロバート・マッカーシー - バンク オブ アメリカ セキュリティーズ社 - アナリスト

それでは部材の価格政策とコストについてお尋ねします。国際企業の本社としてポートフォリオ全般に亘る価格政策について少し説明していただきたいのですが、何か圧力はありますか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

この四半期に部材のコストが少し上がりました。約 0.6%、およそ 1.4 億ドルになります。それはあえて言えば貴金属類です。それはご覧の部門でその部材は航空宇宙およびエナジー部門向けです。その価格上昇は吸収できます。弊社の価格戦略および生産性によって価格の上昇分を吸収しており弊社ではそれらの計画を継続して将来的にはそれを達成するつもりです。

ロバート・マッカーシー - バンク オブ アメリカ セキュリティーズ社 - アナリスト

最後に、ジェフさん、照明設備について説明をお願いします。この四半期には大きな注文があり受注が 17% 増、小売ベースでは 29% 増でした。エナジーの再編があるのかその辺を少しご説明頂けますか？ なにか変更はありますか？ そこでは何が収益源ですか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ボブさん、最初に申し上げたいのは部材のご質問にお答えするには Benzene に携わってからからまだ 6 週間しか経っていないということです。ちょっとした息抜きにお話しします。ここで申し上げたいのはエナジーの再編事業および環境に関わる事業は大切な事業であるということです。私は記録を取っています。照明については、品質が向上しており、CFL などの新技術に関する新しい技術の需要が発生し、それが高効率の白熱灯の場合、新しい技術が高い利益率につながるということです。さらに、皆さんは現在の成長は単に新興市場の成長によるものだけではないと考えておられると思いますが、高エネルギーコスト、弊社のお客様および消費者の関心、それが風力タービンあるいは電球であろうがエネルギー効率に優れた製品購入への要求など、GE の周りには様々な副次的成長要素があります。それは将来にもつながると申し添えておきます。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

CFL の販売が 2 倍以上に伸びており、エネルギーへの再参入、エネルギー効率改善への影響が起り、ヨーロッパでも同様に考えています。

ロバート・マッカーシー - バンク オブ アメリカ セキュリティーズ社 - アナリスト

皆さん、貴重なお時間ありがとうございました。

オペレーター

大変ありがとうございました。皆さん、次はリーマン・ブラザーズ社のボブ・コーネル様のご質問です。お願いします。

ボブ・コーネル様 - リーマン・ブラザーズ社 - アナリスト

わかりました。皆さん、おはようございます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ボブさん、おはようございます。

ボブ・コーネル様 - リーマン・ブラザーズ社 - アナリスト

WMC に関して質問します。売却を発表されましたが、それは第 3 四半期に実施されますか？あるいはそれは長時間かかる見込みですか？次に GE Money のガイダンスですが、WMC について何か記載ありますか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

現在の経過を説明すると、すでに事業撤退の発表して現在は買い手を捜しているところです。ですからこれは見込みではなく、実際に撤退に向けて動き出しています。第 3 四半期のガイダンスでこの事業からの撤退による影響および撤退した場合の継続中の WMC の事業について弊社の考えを説明しています。

ボブ・コーネル様 - リーマン・ブラザーズ社 - アナリスト

営業実績にはどのように反映されますか？それはプラスチックの売却益との相殺での計上はありませんか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

ボブさん、今プラットフォームをご覧いただければ、弊社の現在の住宅ローン資産をご覧になれます。このプラットフォームは希望される企業にとっては大きな価値があります。この事業でお金を儲けている方が大勢います。弊社の推定では現在の事業からの撤退は現在弊社が GE Money に計画している結果に対する実質的な影響はありません。

ボブ・コーネル様 - リーマン・ブラザーズ社 - アナリスト

そうですね、では別の問題が考えられます。一般的には GE はこのような弱点をうまく活用している会社だと思うのですが、同様の問題が日本での個人ローンにあると思います。事業がこのように停滞している時、それに不平をいうことも出来ますが、特にインダストリアルは 60% で貴社の営業利益が二桁であるある訳ですから、どのようなお考えかお聞かせねがいますか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

多分弊社は日和見主義的なところがあり、また弊社には持久力があります。この場合でいえば弊社はそれを継続すべきでない判断しました。弊社ができる他の分野があり現在の市場で弊社の特徴を活かせる事業に力を入れるのが最適だと考えたからです。色々検討して参りましたが現在の状況から判断して米国の投資家はこの業界に踏みとどまることを弊社の期待していないという力強の下で決断しました。ジェフ、他に何か付け加えることはありますか。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ボブさん、素晴らしいご質問です。弊社は 10 数年逆境を凌いできました。キースと私で会社の色々な角度からあらゆる可能性を見回してみた場合、余りにも多くの選択肢があったということです。ですから投資家の GE に対する期待に沿った形でこの事業からの撤退すべきだと考えた訳です。

ボブ・コーネル様 - リーマン・ブラザーズ社 - アナリスト

わかりました。了解しました。ありがとうございます。.

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ありがとうございます。

オペレーター

大変ありがとうございます。皆さん、次はモーガン・スタンリー社のスコット・デビス様からのご質問です。では、よろしくお願いたします。

スコット・デビス様 - モーガン・スタンリー社 - アナリスト

了解しました。それでは皆さんおはようございます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

スコットさん、こんにちは。

スコット・デビス様 - モーガン・スタンリー社 - アナリスト

これは答えにくい質問かも知れませんが、2007年度に株式の買い戻しを拡大した件は他に適当な買収案件がなかったからという解釈でよろしいでしょうか。20億ドル以上の件です。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

スコットさん、ご懸念には及びません。

スコット・デビス様 - モーガン・スタンリー社 - アナリスト

了解しました。ありがとうございます。営業に関して少し質問します。この質問は第 1 四半期にもさせて頂きました。個人のクレジットカードは重宝しておりますが、何か懸念材料あるいはクレジットの信頼性の低下に関する何か問題はあるのでしょうか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

米国の消費者はまさに頑張っています。米国の 30 日支払い帯納率をご覧ください。スコットさん、これがそうです。第 2 四半期のポートフォリオでは、それは 4.72% です。第 1 四半期では、それは 4.88% でした。ですから第 1 四半期から 16 ペイシスポイント下がっている訳です。昨年、第 2 四半期は 4.53% でした。ですから第 2 四半期でみると少し上がっています。ですから頑張っている訳です。そういう意味では支払い滞納者の回収者を増やしたといえるかも知れません。消費者は最低の未支払い残を支払います。標準化、つまり昨年施行された現在の新破産法が落ち着くまでに多少影響がありました。現在それを監視しています。弊社はそれについては非常に慎重です。しかし支払い帯納の問題がサブプライムのどのような形でその何かの影響を及ぼしたことは誓ってありません。

スコット・デビス様 - モーガン・スタンリー社 - アナリスト

わかりました。それでは最後の質問ですが、私は Smiths の事業が第 2 四半期の利益を下げたことに関しては詳しく知りません。買収後の仕入先の問題が常に業績に影響することは知っています。しかし、どれほど短期間でSmithsで利益増を確保できたか、セグメントの平均に近い利益率まで上がっていると思うのですが？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

はい、それがシナジー効果がもたらしてくれている産物です。Smiths のこの四半期の利益率は 10.5% でした。アビエーション全体の利益率は約 22% です。ですからそれが弊社が得意とするところ。収益シナジー効果およびコスト シナジー効果の両方で 2008 年末までに数億ドルを実行レートで稼ぎ出す予定です。その条件は全社的で非常にうまく機能しています。それは非常に大きな恩恵をもたらしており、計画の一部でもあります。またその担当部門はそれを継続できるよう素晴らしい仕事をしています。

スコット・デービス様 - モーガン・スタンリー社 - アナリスト

わかりました。皆さん、ありがとうございます。株式の買い戻し拡大に大賛成です。ですから継続してください。ありがとうございます。

オペレーター

大変ありがとうございます。皆さん、次は UBS 社のデイビッド・ブルースタイン様のご質問です。では、よろしくお願いたします。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

おはようございます。簡単に2、3 点質問します。WMC では最初になにを支払ったのでしょうか？それで現在四半期で説明しているのは期待しているネットの実現可能な価値ですか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

弊社はその取引の条件は発表していません。そしてそれは現在の純価値まで下がっています。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

わかりました。この四半期に何基の蒸気タービンを出荷されましたか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

それはジョアンナが回答します。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

わかりました。ガスタービン 64 基の受注のうち米国のお客様からの注文は何台でしたでしょうか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

調べてみます。この四半期はなかったものと思われます。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

わかりました。それでは、多分--。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

多分ご注文は 0 -- この四半期のご注文はグローバルだったと思います。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

はい。

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

出荷はゼロでした。同様にご注文もなかったと思います。ガスタービンですか。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

それではそのご質問は、米国のお客様の志向プロセスでガスタービンに変更になったということでしょうか？彼らは未だに完全に蒸気に注目しているということでしょうか？そして蒸気タービンに変更する何か必要があったということでしょうか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

そうですね。世界的には明らかにガスタービンへの需要が多くあります。ダイナミクスをご覧頂ければ、米国のエネルギー市場がよくお分かり頂けます。置き換え能力と米国のエネルギー市場での新たな成長を見て頂き、もし新たな容量が必要だということのご質問であれば、原子力の場合には発電所を建設して操業を始めるには 10
年必要です。石炭には多くの環境問題があります。ガスタービンに戻られるということでしょうか。ガスタービンについては現在お客様と色々検討を重ねています。今後数年後には間違いなく容量の問題が出てきます。そしてこれまでに、弊社ではこの世界的な重要を調査しており、今後大きな重要が出てくるのを期待した大きな需要が出てきます。それは需給関係で見た場合それはまず間違いなく、エネルギーの供給能力とともにさらに環境問題加わってきます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

デーブさん、もしご質問が米国の公共事業の行政府の考えということであれば、それはガスと風力技術だと思います。実際のところ、航空機の市場は離陸し始めており、それは先駆者対将来のガスタービンの出荷の構図になります。そして FP&L
の石炭発電への許可が下りないのは業界の大きな指標になると思います。再度申し上げますが、米国ではガスと風力が有力な技術になり、関心は日ごとに高まっています。

デイビッド・ブルースタイン様 - UBS 社- アナリスト

素晴らしい。どうもありがとうございました。

オペレーター

大変ありがとうございます。皆さん、次はA.G. エドワーズ社のクリス コトウィッツ様からのご質問です。それではお願いします。

クリス・コトウィッツ様 - A.G. エドワーズ社- アナリスト

皆さん、おはようございます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

クリスさん、こんにちは。

クリス・コトウィッツ様 - A.G. エドワーズ社- アナリスト

GE キャピタル全般について質問します。高収入ベースにしては拠出価額が横ばいで実績としての拠出幅も年々約 500 ベイシスポイント下がっています。その理由をご説明して頂けませんでしょうか？金利についても説明をお願いします。それについてもう少し説明して頂きたいのですが？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

財務諸表からは 2、3、点総資本から落としています。GE アクセスを調整する必要があり、それはコマーシャル
ファイナンスの拠出ビジネスで昨年の第 4
四半期に販売し極めてわずかな収入があり利益が無かった分のもので、それを調整した場合、それは金融サービスの利益のペー
ジで行っていますが、ご覧のようにいくつかの数字で調整しています。その調整後も、リスク調整後の拠出価額の 6.72
のページにあります。そのいくつかは WMC
の影響を受けています。ですから引き続き流動資産からの利益の圧縮があり、そのいくつかはコマーシャル
ファイナンスのもので、その中に金利の上昇があり、それが多少純利益を圧迫し、それがコンシューマー部門でありました。です
からそれが基本的にはこの第 2
四半期の横ばいの要因です。ですが現在は一般的によいとされている利益の利益率にあり、それは標準化したもので、今後にとっ
てはよいニュースです。

クリス・コトウィッツ様 - A.G. エドワーズ社 - アナリスト

ですから 67, 68% を貴社の将来のモデルへの拠出金として考えてもいいでしょうか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

現在のレートは古い資産を運用し現在の資産に追加する場合には多少の圧力になるものと考えられます。ですからポートフォリオ
全体としては現在また安定した状態ではありません。新しい追加があった場合に安定します。クリスさん、それが改善する正確な
パーセントはわかりません。その件については今後も検討して参ります。

クリス・コトウィッツ様 - A.G. エドワーズ社 - アナリスト

わかりました。では次に年度ごとの引当について説明をお願いします。それはどれくらいになりますか - その中でWMC
分はいくらですか？あるいはそれは既に処理され今回には反映されていませんか？

キース・シェリン - GE - シニア・バイス・プレジデント兼 CFO

WMC

は引当には含まれていません。それは売上と米国の破産法に大きく影響されます。ですから弊社では破産法の変更からはじめ、ご
存知のように昨年破産法によって破産が増加し、弊社はそれらの破産による損失から 2007 年の第 2
四半期には平均化の段階にありそれが大きな理由であり、これらの 2 点に集約されます。

クリス・コトウィッツ様 - A.G. エドワーズ社 - アナリスト

わかりました。次に、ジェフさん、米国のガスタービンが好調であるというのは間違いありませんか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

そのように私はみえています。現在様々な点で注目されています。弊社は現在準備金が新しい投資に向けて整いつつあると思います
。今後数年でそれを検討して参ります。

クリス・コトウィッツ様 - A.G. エドワーズ社 - アナリスト

わかりました。皆さん、ありがとうございました。

ダン・ジャンキ - GE - インベスターコミュニケーションズ - バイス・プレジデント

もう 1 つだけ質問があります。

オペレーター

わかりました。次の質問はクレジット・スイス社のニコル・パレット様からの質問です。どうぞ続けてください。

ニコル・パレット様 - クレジット・スイス社 - アナリスト

おはようございます。このコンファレンス コールに参加させて頂きありがとうございます。ポートフォリオに関して 1
つだけ質問があります。GE キャピタルといえば昔は純利益が例えば 40%、インダストリアルが 60%
だったと思うのですが。例えば 50/50
としてポートフォリオを考えてみた場合、その思考プロセスで間違いありませんか？もし間違っていないとしたら、GE
キャピタルの総純利益のパーセントとしてご満足できる数字を教えてくださいませんか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ニコルさん、特に設定した数字はありませんのでその数字は申し上げられません。短期的にはおよそ 50/50
とはいえるのですが。再度もうしあげますが、弊社がよい位置を維持している業界においてポートフォリオの数字を見るに値する
事業には留まり、投資家によって株価が高騰し他社が参入して価値を生み出すような事業には踏み止まらないようにしています。
弊社では現在その点を真剣に検討し熟慮を重ねています。特に決めたパーセントはありません。

ニコル・パレット様 - クレジット・スイス社 - アナリスト

わかりました。ありがとう。それでは最後に大きな構想について質問します。ジェフさん、組織の中で何か変更がありましたら、
組織の全般にわたって、あなたのお考えを教えてくださいませんか？これまでに行ってきた買収に関わったもので？そして組織の能力
としてどのように考えておられますか？

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ニコルさん、現在我々はセッション最終段階にあり、この1、2
週間に取締役会に提出します。会社全体を見渡してみれば、それは会社の中のビッグ 50 P&L に当たります。弊社では 250
バックフィルを準備しており、用意はできています。弊社には組織を縦横に跨るリーダーシップのチームがあります。これにはお
よそ 10
億ドルほどのトレーニングに投資して行きます。それには継続していきます。私は弊社の人材に関しては満足しています。弊社
では 2002 年からおよそ 110 から115
名ほどの幹部候補生を指名し、会社としてなすべき使命、伝えるべきメッセージを真に反映させるチームを組んでいます。

ニコル・パレット様 - クレジット・スイス社 - アナリスト

わかりました。ありがとうございます。

ジェフ・イメルト - GE - 会長兼CEO

ありがとうございます。

ダン・ジャンキ - GE - インベスターコミュニケーションズ、バイス・プレジデント

それでは、ここにご参加頂いた皆様に感謝します。本日の収益コールの資料は弊社のウェブサイトからご利用頂けます。ジョアンナと私が終日皆様のお手伝いをします。大変ありがとうございました。

オペレーター

大変ありがとうございます。皆さん、今日はこのコンファレンスコールにご参加いただきありがとうございました。これにて本日のコンファレンスコールを終了したいと思います。接続を解除して頂いても結構です。さようなら。

免責条項

Thomson Financial
は、このウェブサイトに変更を加えた何人といえども事前の通知なく本ウェブサイトに掲載の文書、内容、またはたの情報を変更する権利を留保します。

イベント議事録が作成されたコンファレンス・コールにおいては、企業はいかなる項目に関しても企画または事業見解声明を作成することができません。事業見解声明は、予期される状況およびリスクを伴う可能性および予期せぬ状況に基づきます。実際の業績は、さまざまな重要な要因およびリスクに基づいて作成される業績見通し声明のそれとは実質的に異なる場合があります。実際の業績は当事企業の最新の証券委員会への申告書により具体的に明記されています。事業見解声明は当事企業の独自の判断に基づいたものであり、不正確あるいは不適切である場合があります。したがって、事業見解声明の予想業績の正確性を保証するものではありません。

イベント議事録に記載されている情報は、コンファレンス・コールにおいて当事企業から得たものを原文のまま記録したものです。正確なトランスクリプトを提供するよう心がけておりますが、コンファレンス・コールの内容において実質的な不手際が生じる場合のあることをご了承ください。THOMSON

FINANCIALまたは当該企業は、このウェブサイトまたはいかなるイベント議事録に掲載されてる情報に基づいたいかなる投資または決定に対して一切の責任を負いません。ユーザーの方は、いかなる投資および決定をする前に当事企業のコンファレンス・コールおよび証券取引委員会への申告書を精査されることをお勧めします。

© 2005, Thomson StreetEvents All Rights Reserved.